



花の産地を訪ねて

花のバスツアーレポート



「暮らしにもっと花を！」と、県果樹園芸課と県花き協会の呼びかけで、花の産地を訪ねるバスツアーが、去る三月二十六日行われました。私も、沢山の応募者の中から選ばれた花好きを自認する皆さんと一緒に、花に囲まれた一日を過ごしてきました。

八時半に県庁を出発したバスは、菜の花が一面に咲き乱れる緑川沿いを抜け、三号線を下り、海を眺めながら一時間も走ると、その日の目的地、三角町戸馳島に到着。三角町は平均気温が十七度と、熊本市内より一度高く、桜の花も一足早く見頃を迎えていました。こうした温暖な気候を生かして、古くから花づくりが盛んで、以前は、キンセンカ、菜の花、ポピーなどの露地栽培が行われていましたが、最近では花の高級化に伴い、ビニールハウスやガラス室を使って、キンギョ草、宿根カスミ草、マーガレット、スイトピー、バラ等が栽培されています。私達も実際に、生産者の方のお宅にお邪魔して、施設や見事な花々を見学しました。花について色々質問したり、園芸相談を

ハウス栽培の花を見る見学者たち



したり、生産者の方との交流の中で、農業としての花栽培の苦労が感じられました。

ツアーの最後は、南高江町の花き農協で、フラワーデザインの指導と実演、一日の反省会等がありました。中でも 플로리스트の手による素晴らしい作

品には大きな歓声と拍手が沸き起こり、今回のバスツアーを盛会のうちに締めくくってくれました。

そして、参加者全員、おみやげの花束を手に、それぞれ家路につきました。この花束とおみやげ話は、きっと家族の心をなごませてくれたことでしょう。

フラワーデザインの指導と実演



生産者からの花栽培の説明

